

KSUプロジェクト型教育

『KSU プロジェクト型教育』とは？

学びの舞台は、実社会の『現場』

地域や企業、行政と連携してプロジェクトを立ち上げ、取り組むことで

実践力・共創力・統率力をはじめ、様々な力を養います。

学部・学科の枠を越え、産学官連携による商品開発やプロモーション、
技術開発、イベント開催などのプロジェクトを展開しています。



SDGs も実践！

プロジェクト型教育を通して、
SDGs の達成も視野に入れています。

SDGs とは？

「Sustainable Development Goals(= 持続可能な開発目標)」のことで、よりよい社会の実現を目指す世界共通の目標のこと。2030 年を達成期限とし、17 のゴールと 169 のターゲットから構成されている。



九産大 プロデュース展 2022

02.24(木) ▶ 02.27(日) 10:00 - 20:00

会場：福岡市中央区天神 2 丁目 2-43 ソラリアプラザ 1F イベントスペース・ゼファ

主催：九州産業大学 (TEL092-673-5012)

入場料：無料

大川プロジェクト

家具の町・大川の企業と家具制作！

2012年より大学の学生と企業がチームを組んで家具・雑貨の開発に取り組んでいます。開発した家具は、2022年4月に大川で開催される「大川春の木工祭」でも展示・公開されます。



FLOOR MAP

今年で14回を迎える「九産大プロデュース展 2022」は、九州産業大学の学生たちが、地域産業振興のため地元企業や自治体などと連携して取り組んだ、1年間のプロジェクトの活動成果展です。文系・理工系・芸術系9学部21学科と大学院5研究科、造形短期大学部の強みを生かし、商品開発や映像、壁画制作など、多彩な取り組みを行いました。



受付

展示会の案内

サウナコンテンツを活用した林業の活性化

コンセプトは「森を、浴む」

サウナブームの中で「サウナコンテンツを活用した林業の活性化」をテーマに、サウナストーンに振りかけて蒸気を楽しめる「桜、檜、松から抽出した天然ロウリュウ」を開発しました。購入型クラウドファンディングで販売し、目標を達成しました。



須恵町壁画制作プロジェクト

アートで町を活性化！

造形短期大学部が、須恵町役場庁舎前や同町立美術センター久我記念館内に、町の花「ツツジ」や町の鳥「ウグイス」、須恵焼、皿山公園入口の蒸気機関車など町にちなんだ絵を描きました。



経済学・生態学・芸術学による生物多様性価値の多面的評価

干潟の価値を作品として表現

熊本県にあるラムサール条約登録湿地のビクターセンター「荒尾干潟水鳥・湿地センター」で、湿地の生態系サービスをテーマにした大学院生2名の作品展示を行いました。

地域ブランド推進プロジェクト、大学記念事業支援、大学記念品事業

ソーシャルデザインで社会に貢献！

白黒写真カラー化プロジェクトやシティパスのラッピングデザインプロジェクト、伝統産業の製品化、大学土産物開発援助など地域と連携したいくつかのプロジェクトの成果を展示しています。

デザインブラッシュアップセミナー、製品企画力高度化支援事業

企業との産学連携プロジェクト

福岡県工業技術センターインテリア研究所と連携して地域企業のデザイン力や製品企画・開発力向上を目的としたセミナーや支援事業に取り組んでおり、その研究・活動成果を展示しています。



地域公共交通運行管理支援プロジェクト

ICTを活用してバスを管理！

自治体が運行する地域公共交通の運行管理において、利用者向け車内アンケート調査や乗降客数調査を実施し、車両位置情報提供システム（バスロケーションシステム）、車内案内表示システム等を提供するなど、各種ICT支援を実践しています。

地域活性化を目的とした映像コンテンツ制作プロジェクト

福岡の伝統品に携わる活動を映像化

福岡県中小企業団体中央会と連携した〈福岡県伝統的工芸品プロモーション動画制作プロジェクト〉や福岡市および博多伝統職の会と連携した〈博多張子X STEAM 教育プロジェクト〉の中で制作された映像を上映しています。

スマートフォン用アプリケーション「マリンワールド」開発

実際に水族館で運用中！

芸術学部星野ゼミの学生が企画・デザインし、理工学部田中教授によってシステム化されたスマートフォン用アプリケーション「マリンワールド」です。

「金姜柑」文理芸融合6次産業プロジェクト

生姜から機能性表示食品を商品化

生命科学部が芸術学部、地域創学部と協力し、株式会社アガペファーム（朝倉郡筑前町）の機能性表示食品・ジンジャーシロップ「金姜柑」の商品化を支援しました。



Share with Me (ピアサポート)

学生の不安を和らげる環境づくり

人間科学部と芸術学部、理工学部学生が、コロナ禍による学生の不安や孤独感の相談に乗る「ピアサポート」を開設。芸術学部学生がクローバーモチーフのワークシートをデザインし、理工学部学生が心身の状態把握のための「日記アプリ」を開発中。*ピアは「仲間」の意味

